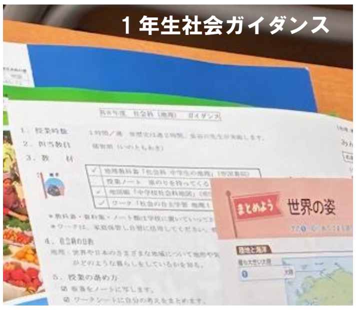
# 予め

4月10日に、安全指導を行いました。災害時における身の守り方と基本となる避難経路の確認を行いました。始業式後、できるだけ早いうちに行おうとこの日になりました。それは「災害は忘れた頃にやってくる」いつ起こるか分からないからです。更に実践として、13日に基本避難経路を使用した避難訓練を行いました。地震を想定して身を守るために速やかに行動がとれるよう練習をしました。校舎内は“おかし”の原則、おさない・駆けない・しゃべらないを徹底しますが、ひとたび校舎から出れば、落下物から身を守る、さらに昇降口が渋滞せぬよう駆けだします。今回は、予め生徒に伝えてから避難訓練を行いました。気持ちの準備をさせて、まずは、基本が徹底します。基本なくして有事に柔軟に対応できないからです。今後は予告なしの訓練も併せて行っていきます。




今週は 1 コマが、学級づくりから教科指導へと移り始めています。まずは、授業のガイダンス、即ち予告編です。特に1年生は、全てが教科担任制となるのですから、大切な時間です。2年 C 組、音楽室に入ると、もはや“教科”という枠を越えて、『音の楽しみ方』を知る、学ぶ、獲得するという予告です。清瀬中の音が・歌がどうなっていくか楽しみです。3年 A 組、体育は向き合ってラジオ体操の確認です。お互いを二人組で向かい合いながらの演技は、双方の良し悪しが見えてきます。後半にはフィードバックタイムがあり、お互いにアドバイスをしました。試技に入る前には予め筋肉の温度を上げる必要があります。“ラジオ体操ダイエット”なる本も出版されていました。この体操は大変良く構成されていますから、つま先まで意識し、手の指先を高く掲げ、筋温を上げる。試技にむけて身体に予告してほしいのです。

予告と言えば、サイネージ（デジタル掲示板のこと）にて給食の献立予告が始まるという噂を聞きました。会議室前の廊下に出てみると、確かにサイネージを確認できました。画面をのぞき込むと、『明日17日のおかずの予告』です。私が小学6年生の頃、食欲が勉強欲に勝り、3時間目の休みになると教室掲示の献立表では満足できず、給食室前の不愛想なサンプルを仲間と共に見に行って気持ちを充足していました。飾りっ気がないので 冴エネーシ 。今回から登場の一口メモが添えられた素敵な給食予告なら前日から食欲が高く上がりそうです。

前もってという意味で使う『あらかじめ』は「あるあかしみえ」が転じたといいます。「或る明かし見え」明かしは灯りの事です。行く先に灯りが見える。灯りが見えることで行く先が決まるという意になるのです。ということは、目標という意味にもつながっていくのではないでしょうか。

「或る明かし見え」 灯火を高く掲げ、清瀬中の令和 8 年度が始まりました。